

日本農業技術検定 団体受験ガイドブック

2023年度版

日本農業技術検定協会
(事務局：一般社団法人全国農業会議所)

日本農業技術検定団体受験ガイドブック

目 次

1. 2023年(令和5年)度日本農業技術検定学科試験実施要項
(参考) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する日本農業技術検定試験実施の留意事項
2. 2023年(令和5年)度日本農業技術検定実技試験実施要項
3. 日本農業技術検定の概要
 - (1) 日本農業技術検定とは
 - (2) 検定の種類
 - (3) 受験申込方法
 - (4) 受験料
 - (5) 合格のメリット
 - (6) 試験内容(「日本農業技術検定」の制度設計)
 - (7) 試験領域と試験問題
 - (8) 試験結果
4. 団体受験の要件
 - (1) 要件
 - (2) 試験官誓約書の提出
 - (3) 行政財産使用申請書の取り扱い
5. 団体受験(学科試験)の申込方法
 - (1) 「ログイン」から「申込み完了」までの流れ
 - (2) ログイン
 - (3) メールアドレスの入力および個人情報の取り扱いの確認・同意
 - (4) 団体情報の入力と確定(団体申し込みの登録)
 - (5) 受験者名簿の登録
 - ① 受験者の登録
 - ② 「一人ずつ登録」する場合
 - ③ 「一括登録」する場合
 - ④ 2級の実技試験免除の操作
 - ④ 受験者の確定
 - ⑤ 受験申込受付メールの確認、IDとパスワードの取得
 - (6) 登録内容の確認・変更の操作
 - (7) 受験者名簿の変更・追加の操作
 - (8) 団体受験申し込みのキャンセルの操作
6. 受験料の支払方法
 - (1) 受験料
 - (2) 受験料の支払方法

7. 実技試験免除の申請
 - (1) 2級実技試験免除規定
 - (2) 1 級実技試験免除規定
8. 行政財産使用申請書の取り扱い
 - (1) 申請手続き
 - (2) 使用料等の支払い
9. 受験票・試験資材の発送
 - (1) 受験票の送付等
 - (2) 試験資材の発送
10. 試験結果の通知と合格証等の交付
 - (1) 試験結果の通知
 - (2) 合格証等の交付
 - (3) 合格証等の誤植等への対応
 - (4) 合格証等の再発行
11. 試験官の設置
 - (1) 試験官の設置
 - (2) 試験官誓約書の提出
 - (3) 試験官報酬
 - (4) 試験官報酬の申請書
12. 「試験運営マニュアル」および「団体申込サイト 操作マニュアル」
 - (1) 「試験運営マニュアル」に基づいた試験の実施
 - (2) 「団体申込サイト 操作マニュアル」の入手について
13. その他
 - (1) 一般受験者の受け入れ意向の確認とご協力をお願い
 - (2) お問い合わせについて

1. 2023年（令和5年）度日本農業技術検定学科試験実施要領

（※下線部は今年度変更の部分です）

1. 試験日

【第1回】令和5年7月8日（土）

【第2回】令和5年12月9日（土）

※1級学科試験は第2回（12月）のみ実施。

2. 試験時間

【3級】10:00～10:40（40分）

【2級】11:10～12:10（60分）

【1級】13:00～14:30（90分）※第2回（12月）のみ

3. 試験会場

一般受験は東京・大阪等各地の指定会場。

団体受験は試験実施団体の準備・提供した会場。

4. 受験資格

【3級】なし

【2級】なし

【1級】なし

5. 受験料

	一般受験	団体受験	団体受験（学生割引）
【3級】	3,140円	2,620円	1,570円
【2級】	4,190円	3,350円	2,090円
【1級】	5,240円	4,190円	2,620円

※以上、税込。

※団体受験の学生割引は、農業高校、農業大学校、専門学校、大学の生徒・学生に適用する。

また、同一検定日（同一検定回）に複数級（3級と2級、2級と1級の場合に限る）を受験する場合は、上記金額により算出された受験料から1,000円を割り引く。

6. 団体受験の要件

①すべての級を合わせた受験者が合計5名以上であること。

②試験会場を実施団体で準備・提供すること。

③試験当日は、試験官として1名以上（可能な限り1教室2名）担当すること。

④日本農業技術検定試験実施規程に基づき、当技術検定を厳正公正に実施できること。

⑤試験会場として知り得た情報を開示、漏洩しないこと。

⑥試験実施に当たっては、日本農業技術検定協会の指示に従うこと。

※都道府県農業会議以外の高校・大学校・大学等教育機関、JA、農業法人等の団体受験の場合、試験官は就任に当たって次の事項を定めた「誓約書」を日本農業技術検定協会に提出する。

- i) 試験運営マニュアル等試験に関する規程を遵守すること。
- ii) 試験問題等を試験実施日まで適正に管理し、問題を漏洩しないこと。
- iii) 職務上知り得た情報を開示、漏洩しないこと。
- iv) 試験実施に当たっては、厳正公正に行うこと。

7. 試験官報酬

団体受験の試験実施団体には試験官報酬（1人：2,000円）を支払う。
ただし、3級から1級試験まで担当した試験官には2,000円を追加する。

8. 試験問題と解答方法

- 【3級】農業基礎として共通30問と「栽培系」「畜産系」「食品系」「環境系」から1科目選択で20問。ただし、「環境系」については、環境共通10問と3専門分野（造園、農業土木、林業）別に各10問。四者択一のマークシート方式による計50問。
- 【2級】農業一般として共通10問、「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問。五者択一のマークシート方式による計50問。
- 【1級】農業一般として共通20問、「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問。五者択一のマークシート方式による計60問。

9. 出題範囲

- 【3級】農作業の意味が理解できる入門レベル
 - 【2級】農作物の栽培管理等が可能な基本レベル
 - 【1級】農業の高度な知識・技術を習得している実践レベル
- ※具体的な出題範囲については、ホームページ等で公表する。

10. 申し込み期間

- 【第1回】令和5年4月27日（木）～ 6月2日（金）
- 【第2回】令和5年10月2日（月）～ 11月2日（木）

11. 申込方法

（1）一般受験

一般受験は個人がインターネットで申し込む。なお、インターネット環境がない場合には、FAXあるいは郵送で申し込む。

一般受験については、全国農業会議所・日本農業技術検定ホームページ（<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>）上の「一般新規申し込み」画面にログインし、申し込む。

一般受験のうち「雇用就農資金事業」の雇用就農者は、都道府県農業会議が受験者を取りまとめて、インターネットで申し込む。

期日までに受験料が振り込まれない場合はキャンセルと見なす。

(2) 団体受験

団体受験は学校・J A・農業法人などの実施団体が受験者を取りまとめ、インターネットで申し込む。

団体受験については、全国農業会議所・日本農業技術検定ホームページ (<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>) 上の「団体新規申し込み」画面にログインし、申し込む。

技術検定協会が定める期日までに受験料が振り込まれない場合はキャンセルと見なす。

1 2. 受験料振込先等

一般受験は、申込者個人が受験料を指定口座に振り込む。団体受験は実施団体が一括して受験料を指定口座に振り込む。一般受験、団体受験とも、送金後にキャンセルが発生しても受験料は返金しない。

振込口座は、一般受験、団体受験とも申込者それぞれに別々の口座番号（該当検定1回限りの口座番号）を割り当てる。振込手数料は受験者が負担する。ただし、団体受験の場合は検定協会が負担する。

1 3. 合格基準

【3級】100点満点の概ね60%以上

【2級】100点満点の概ね70%以上

【1級】120点満点の概ね70%以上

※合格基準は、選択科目別に難易度を考慮して決定するため、科目間で基準点は異なることがある。

1 4. 試験結果通知

【第1回】令和5年8月中旬

【第2回】令和6年1月中旬

一般受験は、成績表と合格証等を各個人に送付する。団体受験は、受験者の得点一覧と合格証等を実施団体に一括して送付する。

1 5. 実施主体

日本農業技術検定協会（事務局：一般社団法人全国農業会議所）

〒102-0084 東京都千代田区二番町5-6

あいおいニッセイ同和損保 二番町ビル7階（全国農業会議所分室）

TEL：03-6910-1126、FAX：03-3265-5140

ホームページ (<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>)

メール：kentei@nca.or.jp

(参考)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する日本農業技術検定試験実施の留意事項

農業学校、農業大学校、農業系大学、JA 等での団体受験による試験運営にあたっての新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、以下の点にご留意をお願いいたします。

- 1) 試験実施会場については、受験者の間隔を一定程度(1～2メートル)確保するようにしてください。
- 2) 試験当日の運営にあたっては、下記の対応をお願いいたします。
 - ・ 37.5 度以上の発熱がある場合や軽度であっても咳などの症状がある場合は、会場への入場を制限してください。
 - ・ 予備マスクを準備して、マスクを着用していない方に渡し、必ずマスクを着用するよう促してください。
 - ・ 試験会場には消毒液を設置して、当日は手洗い・手指の消毒を徹底してください
 - ・ 換気は、気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに(30 分に1回以上、数分間程度窓を全開する)2方向の窓を同時に開けて行うようにし、窓のない部屋では常時入り口を開け、換気扇がある場合には換気扇を用いて十分な換気に努めてください。
- 3) 発症者が出た場合は、速やかに別室に隔離して受験を中止して帰宅させ、会場の換気を行ってください。また、試験運営関係者に発熱・咳等の症状があった場合は、速やかに運営業務を中止して、代替りのスタッフがその業務を行えるよう準備してください。

* 上記の内容は文部科学省の指導等により変更する場合があります。変更の場合はその旨をご連絡いたします。

以上

2. 2023年（令和5年）度日本農業技術検定実技試験実施要領

（※下線部は今年度変更の部分です）

1. 試験日

【2級】令和5年11月18日（土）

【1級】令和5年12月9日（土） * 1級学科試験会場で同時に実施

2. 試験内容

【2級】

農業機械作業として「乗用トラクタ」「歩行型トラクタ」「運搬車」「刈り払い機」「背負い式防除機」から2機種を選択し、実地研修試験を行う。

2級実技試験免除規定に適合する者は、申請に基づき実技試験を免除する。

（免除要件は、学校における農場実習履修者又は1年以上営農実務経験者）

【1級】

要素問題によるペーパーテストで、試験時間は90分とする。基礎的確認事項と専門選択分野における実践的知識・経験を問う論述式とする。

1級実技試験免除規定に適合する者は、申請に基づき実技試験を免除する。

（免除要件は、学校における農場実習等4単位取得者又は2年以上営農実務経験者）

3. 試験会場

【2級】鯉淵学園農業栄養専門学校（茨城県・水戸市）

【1級】東京・大阪等の指定会場。団体受験実施団体の準備・提供した会場

4. 受験資格

【2級】2級学科試験合格者

【1級】1級学科試験合格者

5. 受験料（税込み）

【2級】15,710円

【1級】5,240円

6. 申込方法

検定協会が定める「申込書」に必要事項を記入し、受験料の振込証明等を添付の上、検定協会事務局あてに郵送で申し込む。申込書は全国農業会議所・日本農業技術検定ホームページ（<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>）からダウンロードする。

7. 受験料振込先等

各自で受験料を指定口座に振り込む。送金後にキャンセル等が発生しても受験料は返金しない。振込手数料は受験者の負担とする。

8. 合格基準

【2級】基本操作7割、安全操作8割を基準として合否を判定する。

【1級】7割を基準として合否を判定する。

9. 試験結果等通知

【2級】学科試験結果通知に併せて令和6年1月中旬に、成績表と合格証等を各自に送付する。

2級実技試験免除規定の適合者については、所定の申請書類を審査し、審査結果と合格証等を各自に送付する。

【1級】学科試験結果通知に併せて令和6年1月中旬に、成績表と合格証等を各自に送付する。

1級実技試験免除規定の適合者については、所定の申請書類を審査し、審査結果と合格証等を各自に送付する。

10. 実施主体

日本農業技術検定協会（事務局：一般社団法人全国農業会議所）

〒102-0084 東京都千代田区二番町5-6

あいおいニッセイ同和損保 二番町ビル7階（全国農業会議所分室）

TEL：03-6910-1126、FAX：03-3265-5140

ホームページ：<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>

メール：kentei@nca.or.jp

3. 日本農業技術検定の概要

(1) 日本農業技術検定とは

日本農業技術検定は、農業高校、農業大学校、農学系大学などで学ぶ学生や生徒、新規就農や独立就農をめざす農業専門校等での研修生、農業後継者、農業法人の従業員、JAなど農業団体や農業関連企業等の職員・社員などを対象として、農業技術の知識と技能の習熟度を客観的に評価することをねらいとしています。

わが国の“農業界”の人材育成を目的として平成19年度から実施しており、農林水産省と文部科学省の後援を得ています。

(2) 検定の種類

試験の区分は、検定のレベルに応じて「1級・2級・3級」の3つの種類があります。また、誰もが受験できる「学科試験」と一定の要件が必要な「実技試験(1級・2級のみ)」があります。

【3級】 農作業の意味が理解できる「入門レベル」

【2級】 農作物の栽培管理等が可能な「基本レベル」

【1級】 農業の高度な知識・技術を習得している「実践レベル」

※具体的な出題範囲は、日本農業技術検定のホームページ等で公表しています
(<http://www.nca.or.jp/kentei>)。

※合格基準は、【3級】は100点満点の原則60%以上、【2級】100点満点の原則70%以上、
【1級】120点満点の原則70%以上です。選択科目別に難易度を考慮して決定するため、科目で基準点が異なることがあります。

Nca
一般社団法人全国農業会議所
National Chamber of Agriculture

 サイトマップ

 お問い合わせ

組織のご案内

様々な支援のご案内

刊行物のご案内

新着情報

お問い合わせ

様々な支援のご案内

学生・一般の方

経営者・事業者の方

行政・農業委員会組織の方

知りたい内容から探す

事業名から探す

日本農業技術検定のご案内



新着情報

○2019年(平成31年)度日本農業技術検定試験の日程について(2019年1月15日現在)

1. 試験日

【第1回】平成31年 7月13日(土)

【第2回】平成31年12月14日(土)

※1級学科試験は第2回(12月)のみ実施。

(3) 受験の申込み方法

個人で申し込む「一般受験」と、学校、団体・企業などで一括して申し込む「団体受験」があります。いずれも、インターネットで申し込みます。

(4) 受験料

2023年度の受験料は次のとおりです。「団体受験」には5人以上の受験者が必要等の要件があります（「4. 団体受験の要件」参照）。

また、同一の検定日(検定回)に「3級と2級」または「2級と1級」の複数級を受験する場合は割引受験料を適用しますので、下記をご確認ください。

	一般受験	団体受験	団体受験（学生割引）
【3級】	3, 140円	2, 620円	1, 570円
【2級】	4, 190円	3, 350円	2, 090円
【1級】	5, 240円	4, 190円	2, 620円 ※以上、税込。

*団体受験の学生割引は、農業高校、農業大学校、専門学校、大学の生徒・学生に適用します。

また、同一検定日(同一検定回)に複数級(3級と2級、2級と1級の場合に限る)を受験する場合は、上記金額により算出された受験料から1,000円を割り引きます。

(5) 合格のメリット

農業大学校や農学系大学の一部では、合格者に対して推薦入学枠を設けたり、入学金等の減免の措置を講じているところがあります。JAや農業法人等では職員の業務遂行上の資格や資質向上にむけて、また一部大学では農場実習の補完として活用されています。

さらに、新規就農希望者にとっては、農業法人等への就農のアピールにもなり、雇用就農者においては営農における研修成果として活用されています。

(6) 試験内容

日本農業技術検定は、「学科試験」と「実技試験」から構成されています。

「学科試験」は、誰もが受験でき、1級・2級は学科試験だけの受験も可能です。

「実技試験」(1級・2級のみ)は、1級・2級ともに学科試験の合格者が受験できます(要件を満たす場合は実技試験の免除が受けられます)。

「日本農業技術検定」の制度設計

等級	1級	2級	3級
想定レベル	農業の高度な知識・技術を習得している実践レベル	農作物の栽培管理等が可能な基本レベル	農作業の意味が理解できる入門レベル
試験方法	学科試験+実技試験	学科試験+実技試験	学科試験のみ
学科受検資格	なし	なし	なし
主な受験者	農業大学校生、大学生、JA営農指導員等	農業高校生、農業大学校生、大学生、JA営農指導員等	農業高校生、農の雇用研修生、JA一般職員等
学科試験 出題範囲	共通：農業一般	共通：農業一般	共通：農業基礎
	選択：作物、野菜、花き、果樹、畜産、食品から1科目選択	選択：作物、野菜、花き、果樹、畜産、食品から1科目選択	選択：栽培系、畜産系、食品系、環境系から1科目選択
学科試験	学科60問	学科50問	学科50問
問題数	(共通20問、選択40問)	(共通10問、選択40問)	(共通30問、選択20問) 選択科目の環境系の20問のうち10問は3専門分野（造園、農業土木、林業）から1つを選択
学科試験	マークシート方式	マークシート方式	マークシート方式
回答方式	5者択一	5者択一	4者択一
学科試験 試験時間	90分	60分	40分
学科試験 合格基準	120点満点中70%以上	100点満点中70%以上	100点満点中60%以上
実技試験 受験資格	学科試験合格者 免除制度あり※1	学科試験合格者 免除制度あり※2	(実技試験なし)
実技試験 出題範囲	専門科目から1科目を選択する生産要素記述試験(ペーパーテスト)を実施	乗用トラクタ、歩行型トラクタ、刈り払い機、背負い式防除機から2機種を選択し、ほ場での実地研修試験	(実技試験なし)

- ※1 2年間以上の就農経験を有する者、または検定協会が定める事項に適合する者(JA営農指導員、普及指導員、大学等附属農場の技術職員、農学系大学生で農場実習等4単位を取得している場合も就農経験と同等と見なします)は、1級実技試験の免除制度があります。
- ※2 1年以上の就農経験を有する者、または農業高校・農業大学校など2級実技水準に相当する内容を授業などで受講した者、JA営農指導員普及指導員、大学等附属農場の技術職員、学校が主催する任意の講習会等を受講した者は、2級実技試験の免除規定が適用できます。

(7) 試験領域と試験問題

試験領域は3級、2級、1級で決まっており、その内容は日本農業技術検定のHPで公表しています。

具体的な試験問題は、一部をHPで例示してありますが、3級と2級の試験問題については、「過去問題集」が全国農業高等学校長協会や全国農業会議所から出版されています。「3級テキスト」は全国農業高等学校長協会(電話:03-5357-1666)から刊行され、「2級テキスト」は全面改訂版が今年度に全国農業会議所から刊行される予定です(なお、従前版の「2級テキスト」は全国農業高等学校長協会が刊行しています)。

1級の試験問題は現在市販されておりません。必要な方は、氏名と送付連絡先を明記して、全国農業会議所(メール:kentei@nca.or.jp)にお申し込みください(日本農業技術検定HPの「問題集・事例」参照)。試験問題をコピーして実費(2,000円/年度)にて郵送いたします。

(8) 試験問題の正答

試験問題の正答表は、試験後、日本農業技術検定HPで公表いたします。

4. 団体受験の要件

(1) 要件

- ① すべての級を合わせた受験者が合計5名以上であること。
- ② 試験会場を実施団体で準備・提供すること。
- ③ 試験当日は、試験官として1名以上(可能な限り1教室2名)で担当すること。
- ④ 日本農業技術検定試験実施要領に基づき、当技術検定を厳正公正に実施できること。
- ⑤ 試験会場として知り得た情報を開示、漏洩しないこと。
- ⑥ 試験実施に当たっては、日本農業技術検定協会の指示に従うこと。

* 注意事項

- 1) 受験者が2級と3級を併願する場合などは、同一人物でも2名とカウントします。
- 2) 厳正公正に試験を実施するため、試験官は可能な限り1室2名の配置をお願いします。

(2) 試験官誓約書の提出

団体受験を実施する団体の試験官は、就任に当たって、次の事項を定めた「誓約書」を日本農業技術検定協会に提出してください(詳細は「11. 試験官」を参照)。

なお、試験に不正があった場合は、団体受験者全員の合格を取り消します。

- ① 試験運営マニュアル等試験に関する規程を遵守すること。
- ② 試験問題等を試験実施日まで適正に管理し、問題を漏洩しないこと。
- ③ 職務上知り得た情報を開示、漏洩しないこと。
- ④ 試験実施に当たっては、厳正公正に行うこと。

* 注意事項

- 1) 「誓約書」の提出は、試験官が複数の場合には代表者1名の提出で差し支えありません。
- 2) 都道府県農業会議の場合は「誓約書」の提出は不要です。

(3) 行政財産使用申請書の取り扱い

会場の使用に当たって「行政財産使用申請書」が必要になる場合は、技術検定協会が申請手続きを行います(詳細は「8. 行政財産使用申請書の取り扱い」参照)。

5. 団体受験（学科試験）の申込方法

（１）「ログイン」から「申込み完了」までの流れ

①ログインから、⑥受験申込受付メールの確認とログインIDとパスワードの取得までの流れは、次のとおりです。

（検定試験の回ごとに新規の申し込み手続きが必要です。今回の検定を初めてお申し込み頂く場合には、「① ログイン」から手続きを行ってください。）

① ログイン（『団体 新規申込み』画面をクリック）



② メールアドレスの入力および個人情報の取り扱いの確認・同意



③ アドレス確認のメールの受信および団体情報登録画面のURLへのアクセス



④ 団体情報の入力と確定（申し込みの手続き）

i) 団体基本情報の入力

ii) 試験官報酬、行政財産使用申請書、請求書発行の有無チェック

《団体登録メールの確認（IDとパスワードの取得）》

団体登録の完了後、操作を中断しても、団体登録メールが登録アドレスへ送信されて、IDとパスワードを取得できます。

なお、申込みは、受験者名を登録しないと完了していませんので、後ほど必ず受験者名を入力してください。その場合取得したIDとパスワードで、ログインします。

「団体 新規申込み」から再度同じ操作をすると、団体がダブって登録されます。



⑤ 受験者名簿の登録

i) 受験者の登録

ii) 受験者の一括登録

iii) 2級実技試験の免除（事前登録制度あり）

iv) 受験者の確定



⑥ 受験申込受付メールの確認とIDとパスワードの取得

(2) ログイン

① 下記の方法により『日本農業技術検定 一般・団体 申込フォーム』画面へ入ります

《申込フォーム画面に入る方法》

- ◎申込フォームのURL (<https://nouken-info.net/dantai/login.php>) にアクセスします。
- ◎または、日本農業技術検定 HP の『新着情報』の下に並んだメニューの『申込方法』をクリックして、さらに『申込方法/団体受験』を開き、そのページにある『申し込みフォームへ』をクリックします。

② (検定試験の回ごとに新規申込が必要ですので、)新規に申込み手続きをする時は、まず『団体 新規申込み』をクリックします。

* 注意事項

- 1) 新規の申込みでは、ID・パスワードからのログインはできません。次の(3)で説明する操作で、今(検定試験)回のログインID・パスワードを取得した後、申込み内容の確認、追加登録や登録内容を変更する場合に、今回取得したID・パスワードでログインします。
- 2) ログインのID・パスワードは検定試験の回ごとに各団体に割り振ります。過去のものは使用できませんので、新規の申込み手続きを行って、新たにログインID・パスワードを取得してください。

(3) メールアドレスの入力および個人情報の取り扱いの確認・同意

① (2)の『団体 新規申込み』をクリックして、『メールアドレスの入力／個人情報の取り扱いについて』画面へ入ります。

② 『メールアドレスの入力』欄にメールアドレスを2回入力します。

* 注意事項

1) 可能な限り日常業務で使用するパソコンのメールアドレスを登録してください。登録したアドレスに「メールアドレス確認メール」が直ちに送信されます。

2) 携帯電話のメールアドレスは登録できません。

③ 次の『個人情報の取り扱いについて』、個人情報保護方針を確認して『同意して登録へ進む』をクリックしてください。

メールアドレス入力／個人情報保護方針確認 【団体申込】

【メールアドレスの入力】	
* メール(PC)	 ※携帯電話のメールアドレスは登録できません。
* メール(確認用)	 ※確認のため、メールアドレスをもう一度入力してください。

【個人情報の取り扱いについて】
個人情報の取り扱いについて 「日本農業技術検定」は、日本農業技術検定協会（以下、「主催者」という）が主催・実施しております。 受験者よりご提供いただく個人情報は、主催者の定める個人情報保護規程に基づき、次のよう に利用されます。 受験申込みされる本人、及び試験実施団体のご担当者様は、以下の内容に同意した上で申し込 みます。

日常業務で使用する PC のメール
アドレスを入力

個人情報保護方針を確認して、
このボタンを押します

同意して登録へ進む
戻る

④ 入力したアドレスへ、直ちに「メールアドレスを確認した」旨のメールが返信されます。

メールが受信できない場合は、操作の問題や迷惑メールとしてブロックされている可能性もあります。再度同様の操作をしてください。それでもメールが受信できない時は検定事務局にお問い合わせください。

⑤ 申込み手続きは、送信されたメールに記載されたURLへアクセスして行います。URL をクリックすると、団体情報登録画面が開きます。

メールアドレスを確認しました。

以下のURLへアクセスして、引き続きお申込み手続きを行ってください。

https://nouken-info.net/dantai/splace.php?sid=XaSI1StzhGdfF3YWKY_eyDmzMEsIag9LQ10cVDfmRfw

(4) 団体情報の入力と確定（団体申し込みの登録）

① 「メールアドレスを確認した」旨の返信メールのURLをクリックして、団体情報登録画面を開きます。

② 必要事項を入力します(必須項目に入力漏れがあると、次には進めません)。

- ・ 学校・団体(会場)名【必須】
- ・ 団体種別【必須】 ⇒ 該当する項目を選択
- ・ 受験地(県番号)【必須】 ⇒ 都道府県名を選択
- ・ 会場住所【必須】 ⇒ 〒番号は数字のみ入力(-は不要)
- ・ 会場電話【必須】
- ・ 会場 FAX
- ・ 会場メールアドレス
- ・ 試験(問合)担当者氏名【必須】
- ・ 試験(門合)担当者連絡先電話番号

試験資材送付先情報（※団体受験に必要な試験問題・解答用紙等の送付先）

- ・ 資材送付先名【必須】
- ・ 資材送付先住所【必須】 ⇒ 〒番号は数字のみ入力(-は不要)
- ・ 資材送付先電話番号【必須】
- ・ 資材送付先 FAX
- ・ 資材送付先担当者氏名【必須】
- ・ 集荷希望有無【必須】 ⇒ 試験日の解答用紙等返送のための宅配集荷
- ・ 集荷時間
- ・ 備考欄 ⇒ 検定事務局への連絡事項は具体的にご記入ください。
必要に応じて事務局より連絡させていただきます。

*** 注意事項**

- 1) 資材の送付先情報は、『会場情報を資材送付先情報へコピー』をクリックすると、入力した会場情報がコピー入力されます。
- 2) 集荷時間は、「〇時に集荷してほしい」という時間指定はできません。
また、「8時～13時」の集荷希望の場合、最速で午前8時に集荷に来る可能性があります。返送できる時間より早く集荷に来た場合や集荷が来ない場合には、貴団体より最寄りのヤマト運輸営業所に再集荷のご依頼をして頂くか、最寄りのヤマト運輸営業所またはコンビニエンスストアに直接お持ち込みを頂きますようお願いいたします（必ず試験当日中にご返送願います）。
- 3) 集荷希望有無で『無し』を選択した場合、試験当日に解答用紙等の返送資材を、最寄りのヤマト営業所またはヤマト便を取り扱うコンビニ等へ直接持ち込む必要があります。なお、集荷に当たっては、必ず「ご依頼主控え」をもらい保管してください(解答用紙等の返送資材が届かない場合の追跡確認が必要です)。

確認事項チェック（※団体受験に係る確認事項についてチェックしてください）

- ・ 試験官報酬の「要・不要」
- ・ 行政財産使用申請書の「要・不要」
- ・ 請求書発行の「要・不要」

*** 注意事項**

- 1) 確認事項は、当初いずれも「不要」になっています。必要な場合に「必要」にチェックを入れてください。
 - 2) 試験官報酬は、「必要」にチェックした団体が、技術検定協会が送付する試験資材に同封されている「申請書」に必要事項を記入して、試験当日の解答用紙等の返送資材として提出してください(※)。
 - 3) 行政財産使用申請書は、「必要」にチェックした団体へ、技術検定協会が定めた様式の「申請書」を送付します(詳細は8. 行政財産使用申請書の取り扱い)。都道府県が定めた様式での申請が必要な場合は、システムの「備考」欄にその旨を明記して、技術検定協会に所定の申請書を送付してください。
 - 4) 原則として受験料の「請求書」は発行しません。請求書を「必要」にチェックした団体には、所定の「請求書」を送付します。また、請求書の宛名は団体名となりますので、別の宛名にする場合には、システムの「備考」欄に請求書の宛名を明記してください。なお、「領収書」は、受験票送付時に団体へ送付します。
- ③ 団体情報の必須項目を漏れなく入力して、確認画面へ進み、団体登録を確定します。
- ④ 団体登録を確定した後に「会場情報の登録を完了した」旨の画面が表示されます。これで団体登録を受け付けました。次に、『受験者名簿の登録へ』をクリックして、受験者の登録へ進みます。
- ⑤ なお、ここで操作を中断して、時間をおいてから、受験者の登録を行うことも可能です。団体登録の完了後、技術検定協会から団体登録のメールが送信されて、“ID”と“パスワード”が取得できます。次回からは、「申込フォーム画面(ログイン画面)」(16 頁)から、その“ID”と“パスワード”を入力してログインします。

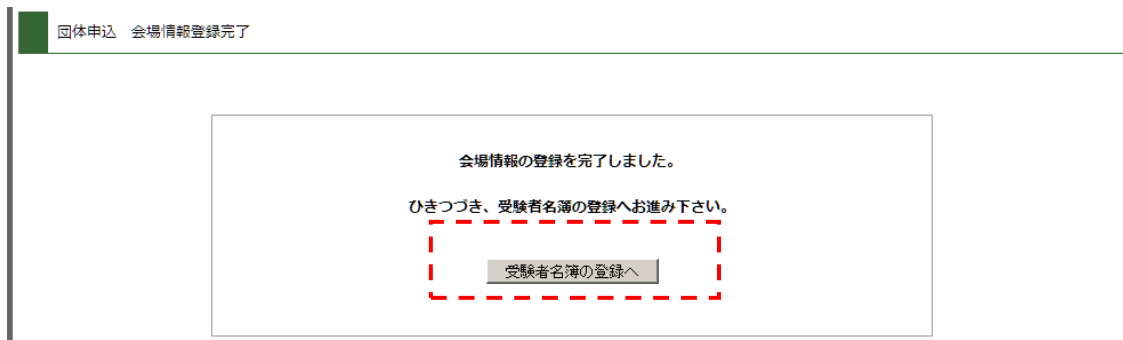
*** 注意事項**

上記の団体登録を確定した後に、「申込フォーム画面(ログイン画面)」で、“ID”と“パスワード”を使わずに、再度『団体 新規申込み』をクリックして、再び団体登録の操作をすると、新しい受け付けとなり、重複してダブって団体登録がなされますので、注意してください。重複してダブって登録した場合は、誤って再度登録した分をキャンセル操作してください。

(5) 受験者名簿の登録

① 受験者の登録

i)『受験者名簿の登録へ』(上記(4)の⑤)をクリックします。



ii) 受験者の登録には「一人ずつ登録」する方法と「一括登録」の2つがあります。

* 注意事項

受験者登録で利用できる漢字は“JIS第2標準”までです。外字対応はしていないので、該当する漢字がない場合は、類似の漢字を入力してください。学校等で作成した外字で入力しても、受験票や合格证等は●(黒丸)で表示されます。(この場合、受験者にもその旨を説明頂き、合格证等は正式な表記に変更しますので検定協会事務局までご連絡ください。)

② 「一人ずつ登録」する場合、システムの入力フォームに氏名等の必要事項を入力します。

入力フォームに、氏名(姓と名の間にスペース)、カタカナの氏名(姓と名の間にスペース)、生年月日(西暦)、性別(チェックする)、受験級(チェックする)を入力して、『追加』ボタンをクリックします。この操作を、受験者ごとに繰り返して登録します。『追加』された受験者は、入力フォームの下のに表示されます。

東京都立日本農業技術高等学校 受験者名簿変更

以下の手順で、受験者名簿を登録してください。

1. 氏名、氏名カナ、生年月日、性別、受験級を入力して「追加」ボタンを押して、受験者を追加してください。
2. 受験者名簿を作成後、画面下の「確定」ボタンを押して、受験者を確定します。

※ 2級実技試験の免除申請に該当する受験者がいる場合は確定前に「2級実技試験免除申請」を行ってください。

※ 7月は1級の試験は実施しません。

一括登録はコチラ

受験者				受験級			登録
氏名	氏名カナ	生年月日	性別	1級	2級	3級	
姓と名の間にスペース	セイとメイの間にスペース	例: 1980/02/14					
山田 太郎	ヤマダ タロウ	1988/4/5	☒ 男 ☐ 女	☐	☒	☒	追加

戻る

2級実技試験免除申請はコチラ

受験者を確定する

[一括登録はこちら](#)

受験者				受験級			登録
氏名 姓と名の間にスペース	氏名カナ セイとメイの間にスペース	生年月日 例：1980/02/14	性別	1級	2級	3級	
			☒ 男 ☐ 女	☒	☒	☒	追加

申込	氏名	氏名カナ	生年月日	性別	1級	2級	3級	変更	削除
未	山田 太郎	ヤマダ タロウ	1988/4/5	男	×	○	○	変更	削除
未	鈴木 花子	スズキ ハナコ	1988/6/7	女	×	×	○	変更	削除
未	木村 次郎	キムラ ジロウ	1987/2/3	男	○	○	○	変更	削除

③ 受験者の登録が多い場合は、「一括登録」を利用できます。

i) 入力フォームの左上の『一括登録はこちら』をクリックします。

ii) 画面に表示された “ sample.xls ” をクリックして、エクセルファイルをダウンロードし、必要なデータ(姓、名、姓のカナ、名のカナ、生年月日、性別、受験級)を、それぞれ入力します。

iii) 入力したデータの部分のみをコピーして、テキストエリアに貼り付けてください。

iv) データを貼り付けた後、『アップロード』をクリックすると、一括して名簿が登録されます。

以下の手順で、受験者名簿を登録してください。

1. 氏名、氏名カナ、生年月日、性別、受験級を入力して「追加」ボタンを押して、受験者を追加してください。

2. 受験者名簿を作成後、画面下の「確定」ボタンを押して、受験者を確定します。

※ 2級実技試験の免除申請に該当する受験者がいる場合は確定前に「2級実技試験免除申請」を行ってください。

※ 2月は1級の試験は実施しません。

[一括登録はこちら](#)

受験者				受験級			登録
氏名 姓と名の間にスペース	氏名カナ セイとメイの間にスペース	生年月日 例：1980/02/14	性別	1級	2級	3級	
			☒ 男 ☐ 女	☒	☒	☒	追加

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	データ行のみ(3行目以降)をコピーしてください								
2	姓 全角 (例 日本)	名 全角 (例 太郎)	セイ 全角カナ (例 二本ノ)	メイ 全角カナ (例 タロウ)	生年月日 半角 西暦 (例 1980/3/14)	性別 全角 (男 or 女)	1級受験 半角 (1=受験、0=受験しない)	2級受験 半角 (1=受験、0=受験しない)	3級受験 半角 (1=受験、0=受験しない)
3	山田	太郎	ヤマダ	タロウ	1988/3/4	男	0	1	1
4	鈴木	花子	スズキ	ハナコ	1988/5/6	女	0	0	1
5	田中	次郎	タナカ	ジロウ	1989/2/8	男	1	1	1

1. 右のエクセルファイルをダウンロードしてください [sample.xls](#)
2. データを入力後、データ部分のみ（ヘッダは含みません）をコピーして、下のテキストエリアにペーストして下さい。
※一度にアップロードできるのは1000件までです。

受験者氏名	受験者カナセイ	メイ	生年月日	性別	1級	2級	3級
山田 太郎	ヤマダ	タロウ	1988/3/4	男	0	1	1
鈴木 花子	スズキ	ハナコ	1988/5/6	女	0	0	1
田中 次郎	タナカ	ジロウ	1989/2/8	男	1	1	1

アップロード

- ④ 2級の実技試験免除の操作（※事前の免除対象校・指定学科登録が必要です。）
- i) 2級の受験者があり、2級実技試験免除対象校あるいは指定学科の登録がなされている場合には、2級の実技試験免除申請の操作を行います。
 - ii) 『2級実技免除申請はコチラ』をクリックすると、2級受験者のリストが表示されます。受験者ごとに、「学年」を入力し、リストの中から受験者が在籍する学科、コースを選択します。
 - iii) 受験者ごとの入力終了したら、必ず『2級実技試験免除申請を行う』をクリックします。
 - iv) 免除申請された受験者には、受験者登録画面の2級の欄に「○免」が表示されます。

* 注意事項

免除申請をしている学校・学科・コースが選択肢に表示されます。ここに載っていない場合は、免除申請がなされていないので、免除申請を行ってください。申請済みの場合には有効期限が過ぎていきますので、事務局までお問い合わせください（詳細「7. 実技試験免除の申請」参照）。

未	山田 太郎	ヤマダ タロウ	1988/3/4	男	×	○	○	変更	削除
未	鈴木 花子	スズキ ハナコ	1988/5/7	女	×	×	○	変更	削除
未	田中 次郎	タナカ ジロウ	1987/2/3	男	○	○	○	変更	削除

戻る

2級実技試験免除申請はコチラ

受験者を確定する

2級実技試験免除申請（東京都立日本農業技術高等学校）

2級実技試験の免除が可能な学校・学科・コースに、受験者が所属している場合、免除申請を行うことができます。
受験者ごとに、所属する学科・コースを選択して、下の「2級実技試験免除の申請を行う」を押してください。
選択肢中に、所属する学校・学科・コースが存在しない場合は、免除申請はできません。

氏名	カナ氏名	生年月日	性別	学年	免除申請学科コース
山田 太郎	ヤマダ タロウ	1988-04-05	男		選択して下さい
木村 次郎	キムラ ジロウ	1987-02-03	男		選択して下さい 都立農業高等学校 都市園芸科、緑地計画科、食品科学科

2級実技試験免除の申請を行う

戻る

(重要)

必ず押してください

免除申請された受験者の枠は「黄色」になります（免除申請されています）。

氏名	カナ氏名	生年月日	性別	学年	免除申請学科コース
山田 太郎	ヤマダ タロウ	1988-04-05	男	2	都立農業高等学校 都市園芸科、緑地計画科、食品科学科
木村 次郎	キムラ ジロウ	1987-02-03	男	0	選択して下さい

2級実技試験免除の申請を行う

免除申請後、受験者登録画面に戻ると、該当者の2級欄に「○免」と表示されます。

申込	氏名	氏名カナ	生年月日	性別	1級	2級	3級	変更	削除
未	山田 太郎	ヤマダ タロウ	1988-04-05	男	×	○免	○	変更	削除
未	鈴木 花子	スズキ ハナコ	1988-06-07	女	×	×	○	変更	削除
未	木村 次郎	キムラ ジロウ	1987-02-03	男	○	○	○	変更	削除

⑤ 受験者の確定

- 受験者名の入力終了したら、画面下の『受験者を確定する』をクリックします。
- 確認画面が表示されますので、受験者数、受験料を確認します。
- 内容が良ければ、その画面下の『受験者を確定する』をクリックすると、「登録を完了しました」が表示され、画面下が「登録済」となれば完了です。

* 注意事項

上記 iii) の『受験者を確定する』をクリックしないと、受験者は確定しませんので、注意してください。必ず「登録済」が表示されていることを確認してください。

未	山田 太郎	ヤマダ タロウ	1988/4/5	男	×	○	○	変更	削除
未	鈴木 花子	スズキ ハナコ	1988/6/7	女	×	×	○	変更	削除
未	木村 次郎	キムラ ジロウ	1987/2/3	男	○	○	○	変更	削除

戻る

2級実技試験免除申請はコチラ

受験者を確定する

受験内容を確認して、下の「受験者を確定する」を押してください

受験級	受験者	受験料
1級	1名	¥ 3,000
2級	2名	¥ 3,000
3級	3名	¥ 4,500
合計		¥ 10,500

振込先 支払期限：2012-06-11 23:59:00

振込先名	振込先番号	入金状況
みずほ銀行	639-	未入金



(重要) これを押して入力情報
が完了です
(必ず押してください)

登録を完了しました。

受験内容

受験級	受験者	受験料
1級	1名	¥ 3,000
2級	2名	¥ 3,000
3級	3名	¥ 4,500
合計		¥ 10,500

振込先 支払期限：2012-06-11 23:59:00

振込先名	振込先番号	入金状況
みずほ銀行	639-	未入金



ここを確認してください

⑥ 受験申込受付メールの確認、IDとパスワードの取得

受験者の確定と同時に、受験申込の受付メールが登録したメールアドレスへ送信されますので、その内容を確認してください。

《受験申込受付メールの内容と送信画面例》

- 級別の受験者数と合計人数、級別の受験料額と合計額
- 振込先銀行口座
- 支払期限
- ログインIDとパスワード

(メールの送信画面例)

東京都立日本農業技術高等学校 様

以下の受験申込を受付ました。

1 級	: 1 名	: ￥2,570
2 級	: 2 名	: ￥3,080
3 級	: 3 名	: ￥4,620
複数受験割引	:	- ￥0
計	: 6	: ￥10,270

以下の銀行口座へ、お支払いをお願いします。

振込先銀行口座(この口座は今回限りの口座です)

みずほ銀行 モクレン支店(639)

普通 0000000

社)全国農業会議所

お支払金額:10,270 円

お支払期限:2022/0/0

*** 注意事項**

- 1) 今回の口座番号は、当該検定回の試験のみに割り振った番号ですので、試験ごとに変わります。過去のものは使用できません。
- 2) また、申込者(団体)ごとに口座番号は異なりますので、必ずメールに記載されている口座番号へ振り込んでください。
- 3) 振込先である「みずほ銀行モクレン支店」は、検定の振込専用のものです。

(6) 登録内容の確認・変更の操作

- ① 申込フォーム(『一般・団体 申し込みフォーム』)の画面を開き、上記の(5)の⑥で取得したIDとパスワードを入力して、『ログイン』をクリックして、確認画面に入ります。
- ② 登録内容を変更する場合(受験者名簿の変更・追加を除く)は、確認画面下の『登録内容を変更』をクリックして、入力画面に入ります(受験者名簿の変更・追加の場合は、次の(7)の操作になります)。
- ③ 入力画面で変更する項目を訂正入力します。

ログインID 990255
パスワード AXXX7DC8

一般 新規申込み
個人でお申込みされる方は、
こちらをクリックしてください

お申込み内容の確認・変更は以下にログインID、ログインパスワードを入力してログインしてください

ログインID	
ログインパスワード	

ログイン

団体 新規申込み
学校・団体でお申込みされる方は、
こちらをクリックしてください

お申込み内容の確認・変更は以下にログインID、ログインパスワードを入力してログインしてください

ログインID	
ログインパスワード	

ログイン

確認事項	
試験費報酬	不要
行政財産使用申請書	不要
請求書発行	不要

登録内容を変更

受験者名簿の変更

申込をキャンセル

学校・団体情報	
申込メールアドレス	kaki@housaku.net
学校・団体名称（試験会場名称）	東京都立日本農業技術高等学校
団体種別	専門学校
受験地	東京都
会場住所	〒 1640001 東京都千代田区二番町9-8

(7) 受験者名簿の変更・追加の操作

- ① 申込フォーム(『一般・団体 申し込みフォーム』)の画面を開き、上記の(5)の⑥で取得したIDとパスワードを入力して、『ログイン』をクリックして、確認画面に入ります。
- ② 受験級や氏名など受験者名簿の変更、追加や削除をする場合は、『受験者名簿を変更』をクリックして、入力画面に入ります。
- ③ 受験級や氏名を訂正する場合は、変更する受験者の欄の『変更』ボタンをクリックして、変更の入力をしてください。受験者を削除する場合は『削除』ボタンをクリックしてください。
- ④ 受験者を追加する場合は、画面上段にある「入力フォーム」に氏名等の必要事項を入力してください。
入力後、新しく追加された受験者は、白色の枠で表示され、「申込」の欄も「未」が表示されます。この状態では、受験申し込みはされていないので、画面右下の『受験者を確定する』ボタンを必ずクリックして、受験者の確定を行ってください。これにより、「申込」の欄が「済」になり、追加の受験申し込みが完了します。

* 注意事項

- 1) 受験者名簿の変更・追加・削除は、申し込み受付期間内に行ってください。申込期日を過ぎますと、閲覧のみが可能となり、変更等の入力操作はできません。
- 2) 受験者名簿の変更・追加・削除は、受験料の振り込み前に行ってください。技術検定事務局が入金を確認した以降は、ログインしても入力操作はできません。受験料を振り込んだ後に受験生の追加等が発生した場合には、技術検定事務局へ連絡してください。

確認事項	
試験官報酬	不要
行政財産使用申請書	不要
請求書発行	不要

登録内容を変更 受験者名簿の変更 申込をキャンセル

受験者				受験級			登録
氏名 姓と名の間にスペース	氏名カナ セイとメイの間にスペース	生年月日 例：1980/02/14	性別	1級	2級	3級	
			☒ 男 ☐ 女	☐	☐	☐	追加

申込	氏名	氏名カナ	生年月日	性別	1級	2級	3級	変更	削除
済	山田 太郎	ヤマダ タロウ	1988-04-05	男	×	○先	○	変更	削除
済	鈴木 花子	スズキ ハナコ	1988-06-07	女	×	×	○	変更	削除
済	木村 次郎	キムラ シロウ	1987-02-03	男	○	○	○	変更	削除

申込	氏名	氏名カナ	生年月日	性別	1級	2級	3級	変更	削除
済	山田 太郎	ヤマダ タロウ	1988-04-05	男	×	○先	○	変更	削除
済	鈴木 花子	スズキ ハナコ	1988-06-07	女	×	×	○	変更	削除
済	木村 次郎	キムラ シロウ	1987-02-03	男	○	○	○	変更	削除
未	田中 三郎	タナカ サブロウ	1989/4/6	男	×	×	○	変更	削除

注) 必ず押して下さい。

(8) 団体受験申込みのキャンセルの操作

- ① 申込フォーム(『一般・団体 申し込みフォーム』)の画面を開き、上記の(5)の⑥で取得したIDとパスワードを入力して、『ログイン』をクリックして、確認画面に入ります。
- ② 確認画面の下段にある『申込をキャンセル』をクリックすると、団体受験の申込みがキャンセルされます。

* 注意事項

- 1) 団体受験の申込をキャンセルした後の復活はできません。申込みが必要になった場合には、最初から新たに申込みを行ってください。
- 2) 受験料の入金後のキャンセルは、原則として返金いたしません。

確認事項	
試験管報酬	不要
行政財産使用申請書	不要
請求書発行	不要

登録内容を変更

受験者名簿の変更

申込をキャンセル

確認事項	
試験管報酬	不要
行政財産使用申請書	不要
請求書発行	不要

キャンセル済

6. 受験料の支払方法

(1) 受験料

2023年度の受験料(消費税込み)は、次のとおりです。

	一般受験	団体受験	団体受験 (学生割引)
【3級】	3, 140円	2, 620円	1, 570円
【2級】	4, 190円	3, 350円	2, 090円
【1級】	5, 240円	4, 190円	2, 620円

※団体受験の学生割引は農業高校、農業大学校、専門学校、大学の生徒・学生に適用します。

また、同一検定日(同一検定回)に複数級(3級と2級、2級と1級の場合に限る)を受験する場合は、上記金額により算出された受験料から1,000円を割引きます。

(2) 受験料の支払方法

- ① 団体受験の受験料は、実施団体が受験者の受験料を取りまとめて一括して、技術検定事務局が指定した団体ごとの振込口座に振り込みます。
- ② 請求金額および団体ごとの振込口座については、受験申込受付メールに記載されています(「5. 団体受験(学科試験)の申込方法」の(5)の⑥、25頁参照)。

(振込先の銀行口座例)

- ・ 振込先銀行等 : みずほ銀行 モクレン支店(支店番号639) 普通 ○○○○○○
- ・ 振込先名義 : 全国農業会議所(ゼンコクノウギョウカイギシヨ)
- ・ 振込人名義 : 実施団体名(※振込口座番号でも識別します)

* 注意事項

- 1) 口座番号は、申込団体ごとに異なります。口座番号によって入金を管理していますので、必ず受験申込受付メールに記載されている口座番号へ振り込んでください。
- 2) また、口座番号は、当該試験のみに割り振った番号ですので、試験回ごとに変わります(1回目の口座番号と2回目の口座番号は、同じ団体でも変わります)ので、ご注意ください。
- 3) 受験料の「請求書」が必要な場合は、申込みの際の「団体情報入力」時の請求書発行欄に「必要」とチェックを入れてください。
- 4) 受験料は、支払期限までにお振り込みをお願いします。
- 5) 団体受験の場合、振込手数料は検定協会が負担します。振込手数料を差し引いた金額を振り込んでください。
- 6) 受験料の振込後は、受験者のキャンセルがあった場合でも、受験料の返金はいたしません。
- 7) 受験料の「領収書」は、受験票の送付時に同封いたします。

7. 実技試験免除の申請

(1) 2級実技試験免除規定

日本農業技術検定 2級実技試験免除規定

令和4年9月30日
日本農業技術検定協会

2級実技免除の申請ができる学科・コース、学校および個人の要件と手続きは以下のとおりとする。

I 要件

1 指定学科・指定コース

次の要件を満たし、所定の手続きを経た学科・コースは、2級実技試験の免除を付与した「指定学科」「指定コース」とする。

- 当該学科・コースにおける教育課程上で、2級実技試験の選択科目別に以下の機種(行程)のうち2機種(工程)以上の操作ないし工程を履修していること。

選択科目	2級実習免除に該当する機種(工程) (2つ以上履修すること)
作物	乗用トラクタ、歩行型トラクタ(管理機)、刈り払い機、背負い式・動力防除機、運搬車、田植機、コンバイン
野菜	乗用トラクタ、歩行型トラクタ(管理機)、刈り払い機、背負い式・動力防除機、運搬車、自動播種機、接ぎ木ロボット
花卉	乗用トラクタ、歩行型トラクタ(管理機)、刈り払い機、背負い式・動力防除機、運搬車、自動播種機
果樹	乗用トラクタ、歩行型トラクタ(管理機)、刈り払い機、背負い式防除機、運搬車、スプリンクラー、スピードスプレーヤ
畜産	乗用トラクタ、歩行型トラクタ(管理機)、刈り払い機、背負い式・動力防除機、運搬車、ふ卵器、搾乳機、ロールベア
食品	穀類・大豆・イモ類の加工、野菜の加工、果実の加工、畜産物の加工、発酵食品(みそ・しょうゆ、酒類)の製造、缶詰製造、フリーズドライ食品製造、レトルト食品製造

2 指定校

学校のすべての学科・コースなどが上記の要件を満たし、所定の手続きを経た学校は、2級実技試験の免除を付与した「指定校」とする。

3 個人

個人とは以下の（１）～（６）とする。

- （１）上記１の要件を満たす学科・コースおよび学校に属している者（指定学科・指定コースおよび指定校以外）
- （２）上記１の要件以外で学校等が主催する該当する任意の講習等を修了した者
- （３）上記１の要件を満たす学科・コースおよび学校を卒業または修了した者
- （４）１年以上の実務経験を有する農業者（農業法人の従業員を含む）
- （５）１年以上の実務経験を有する農協の営農指導員および農業改良普及指導員
- （６）１年以上の実務経験を有する大学農場等の技術職員
- （７）その他

上記（１）～（６）に該当しない場合で、検定協会の審査によって認められた者

II 申請手続き

1 指定学科・指定コースおよび指定校の場合

日本農業技術検定協会（以下、検定協会）が定める様式に必要事項を記入し、教育課程表、年間指導計画、シラバス（補習などを含む）等を添付の上、検定協会宛に申請する。なお、教育課程表などに要件Ⅰの１にある機種のうち２機種以上の機種名が具体的に表記されていない場合は、当該指定学科等が間違いなく必要機種について講義している事を証明する補足説明文書（公文書：学校長印等が押してあるもの）を作成・添付すること（補足説明文書の様式は特に問わない）。

また、学校の統合や学科変更などで教育課程上に変更が生じたときは、速やかに検定協会へ連絡するとともに、指定学科・指定コースおよび指定校の再申請を行うこととする。

2 個人の場合

２級実技試験免除の認定を求める者は、検定協会が定める様式に必要事項を記入し、必要書類を添付して検定協会宛に申請する。

- （１）Ⅰ－１の要件を満たす学科・コースおよび学校に属している者（指定学科・指定コースおよび指定校以外）

所定の様式に必要事項を記入し、在学証明書と教育課程表、年間指導計画、シラバス（補習などを含む）等を添付して、検定協会宛に申請する。

※提出資料には規定で定めた機械・加工授業の具体的名称の記載があること。

- （２）学校・職業訓練施設等が主催する任意の講習会を修了した者

所定の様式に必要事項を記入し、任意の講習会によりⅠ．１の機種（行程）のうち２機種以上の操作ないし工程を修了している証明書（修了証明書等）を添付の上、検定協会宛に申請する。

- （３）公益社団法人日本農業法人協会が実施する農作業安全基礎研修会を修了した者

所定の様式に必要事項を記入し「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」の修了証を添付の上、検定協会宛てに申請する。

- (4) 公益社団法人農民教育協会鯉淵学園農業栄養専門学校が実施する「新規就農キャリアコース 短期」で2機種以上の農業機械の研修を修了、または「チャレンジ！ファームスクール」を修了した者
所定の様式に必要事項を記入し、修了証を添付の上、検定協会宛てに申請する。
- (5) I－1の要件を満たす学科・コースおよび学校を卒業または修了した者
所定の様式に必要事項を記入し、卒業証書・卒業証明書または修了証書等を添付して、検定協会宛に申請する。
- (6) 1年以上の実務経験を有する農業者（農業法人の従業員を含む）
- ① 個人農家
所定の様式に必要事項を記入し、農業委員会が発行する耕作証明書等（または誓約書（所定の農業機械の使用を約束するもの））を添付して、検定協会宛に申請する。
- ② 農業法人の従業員
所定の様式に必要事項を記入し、要件Iの1にある機種のうち2機種以上の機種を使った農作業を実施していることがわかる当該法人の事業概要または年間事業計画書と、申請者本人が1年以上の職歴を証明する雇用契約証明書の写し等を添付の上、検定協会宛に申請する。
- (7) 1年以上の実務経験を有する農協の営農指導員および普及指導員
所定の様式に必要事項を記入し、所属する組織が発行する証明書（または履歴書）を添付して、検定協会宛に申請する。
- (8) 1年以上の実務経験を有する大学農場等の技術職員
所定の様式に必要事項を記入し、所属する組織が発行する証明書（または履歴書）を添付して、検定協会宛に申請する。
- (9) その他
所定の様式に必要事項を記入し、必要な書類を添付して、検定協会宛に申請する。

Ⅲ 指定学科・指定コース、指定校の有効期限

指定学科・指定コースおよび指定校における実技試験免除の有効期限は、免除申請の許可日の年度末から4年間とする。なお、学科・コース、教育課程の変更があった場合は無効とし、再度申請する。

Ⅳ 経費

2級実技免除の申請手数料は1,000円（消費税込み）とし、検定協会所定の口座に振り込むこととする。振込手数料は申請者の負担とする。

【振込口座】みずほ銀行 銀座支店 普通預金

【口座番号】2772364

【口座名義】一般社団法人全国農業会議所

日本農業技術検定 2 級実技試験免除申請書 (学校用)

申請年月日 年 月 日

日本農業技術検定協会 会長 殿

学 校 名
(团 体 名)

フリガナ
代表者氏名

フリガナ
担当者氏名

送付先住所 〒

電話番号 _____
※平日昼に連絡が可能なもの

日本農業技術検定２級実技検定試験免除規定（以下、免除規定という。）に基づき、下記のとおり２級実技試験の免除を申請します。

記

- 1 免除申請の理由
免除規定Ⅰ．要件の（ ）
該当学科、コース、学校名
（ ）
内容
（ ）
- 2 添付書類
（ ）
- 3 申請手数料の振込確認ができる書類

〔留意事項〕

1 「1 免除申請の理由」

免除申請の理由の欄には、免除規定の該当する番号（Ⅰ．要件の（１）または（２））と該当する学科、コース、学校名を記載してください。

また、内容には、①教育課程表などに記載のあるⅠ．要件の１に該当する機種のうち２機種以上の機種名、または、教育課程表などに機種名が具体的に表記されていない場合で必要機種について講義していることを証明する補足説明文書を添付した場合には②「補足説明文書のとおり」、と記載してください。

2 「2 添付書類」

免除規定Ⅱの１に該当する場合は、当該学校の教育課程表または年間指導計画（任意の講習会の場合はカリキュラム等）を添付してください。

3 申請手数料と手数料の振込確認ができる書類について

２級実技試験免除にかかる審査および２級合格証の発行にかかる手数料は、１，０００円とします。なお、振込手数料は申請者のご負担とさせていただきます。

以下の口座にお振り込みいただいた際の明細の写し、または通帳（必要カ所のみ）等の写しを添付してください。（ご入金を証明できるもの：振込金受領証、ＡＴＭ利用明細等）

4 振り込み口座

【振込口座】 みずほ銀行 銀座支店 普通預金

【口座番号】 ２ ７ ７ ２ ３ ６ ４

【口座名義】 一般社団法人全国農業会議所

5 有効期限

実技試験免除の有効期限は免除申請の許可が降りた日から５年間有効とする。なお、学科・コース、教育課程等の変更があった場合は無効とし、再度申請する事とする。

6 申請書送付先（郵送のみ受付可）

日本農業技術検定協会（事務局：一般社団法人全国農業会議所）

〒102-0084

東京都千代田区二番町５－６ あいおいニッセイ同和損保 二番町ビル７階

ＴＥＬ：０３－６９１０－１１２６、ＦＡＸ：０３－３２６５－５１４０

※ ２級の学科試験合格後に免除申請をすると、１人ずつの手続きが必要になります。あらかじめ学校として当免除申請をすることをお勧めいたします。

日本農業技術検定 2 級実技試験免除および
2 級合格証発行にかかる申請書（個人用）

申請年月日 年 月 日

日本農業技術検定協会 会長 殿

フリガナ
氏 名

生年月日 年 月 日生

所属機関名
(学校名)

住所 〒

電話番号 _____
※平日昼に連絡が可能なもの

日本農業技術検定 2 級実技検定試験免除規定（以下、免除規定という。）に基づき、下記のとおり 2 級実技試験の免除および 2 級合格証の発行を申請します。

記

- 1 2級学科合格証明書の番号・受験年度
(受験番号、受験年度： 年 回)
- 2 免除申請の理由
免除規定Ⅰ. 要件の3の()
- 3 添付書類
- 4 申請手数料の振込確認ができる書類

〔留意事項〕

- 1 学校の卒業生および教育課程の修了者は、所属機関名は書かなくて結構です。住所は合格証書の送付先をご記入ください。連絡先は平日昼に連絡がつく電話番号（携帯番号等）をご記入ください。
- 2 「2級合格証明書の番号」（受験番号と同じです。）は証書の右上に記載されている番号です。
- 3 「2免除申請の理由」の欄には、免除規定の該当する番号（Ⅰ．要件の3の（1）～（6））を記載してください。

4 「3添付書類」について

- （1）免除規定Ⅱの2の（1）および（2）に該当する場合は、申請者の所属する学校の教育課程表または年間指導計画（任意の講習会の場合はカリキュラム等）を添付してください。
- （2）免除規定Ⅱの2の（3）および（4）に該当する場合は、研修修了証明書を添付してください。
- （3）免除規定Ⅱの2の（5）に該当する場合は、申請者の卒業または修了した学校の卒業証書・卒業証明書または教育課程の修了証書を添付してください。
- （4）免除規定Ⅱの2の（6）の①に該当する場合は、在住する市町村の農業委員会が発行する耕作証明等（または誓約書（所定の農業機械の使用を約束するもの））を添付してください。
- （5）免除規定Ⅱの2の（8）に該当する場合は、申請者の所属する組織の責任者が発行する「1年以上の職歴を証明する書類」等を添付してください。

5 申請手数料と手数料の振込確認ができる書類について

2級実技試験免除にかかる審査および2級合格証の発行にかかる手数料は、1人当たり1,000円とします。なお、振込手数料は申請者のご負担とさせていただきます。

以下の口座にお振り込みいただいた際の明細の写し、または通帳（必要カ所のみ）等の写しを添付してください。（ご入金を証明できるもの：振込金受領証、ATM利用明細等）

振り込み口座

【振込口座】 みずほ銀行 銀座支店 普通預金

【口座番号】 2772364

【口座名義】 一般社団法人全国農業会議所

6 申請書送付先

日本農業技術検定協会（事務局：一般社団法人全国農業会議所）

〒102-0084

東京都千代田区二番町5-6 あいおいニッセイ同和損保 二番町ビル7階

TEL：03-6910-1126、FAX：03-3265-5140

※営農指導員・普及指導員資格証明書（規定Ⅱ－２－（７）の参考様式）

日本農業技術検定２級実技試験免除にかかる申請書（営農指導員等）

申請年月日 年 月 日

日本農業技術検定協会 会長 殿

組織名称

代表者氏名 印

日本農業技術検定２級実技検定試験免除規定（以下、免除規定という。）に基づき、２級実技試験の免除を申請するにあたり、下記の者は営農指導員・普及指導員等であり１年以上所定の農作業に従事していることを証明します。

記

１ 当該職員氏名（ ）

２ 当該職員所属先・役職（ ）

３ 連絡先
（住所：〒 ）
（電話： ）

４ 職員数（ ）

５ 業務内容
（ ）

６ 当該職員の業務（営農指導）内容
（ ）

７ 上記の従事期間
（ ）

８ 添付書類
・ ２級学科合格証明書の受験番号・受験年度が確認できる書類
・ 申請手数料の振込確認ができる書類
※営農指導員・営農相談員・普及指導員の場合はその資格証の写しを添付。

※農業法人等事業概要及び1年以上の農作業証明書（規定Ⅱ－2－（6）の②参考様式）

日本農業技術検定2級実技試験免除にかかる申請書（農業法人等従業員用）

申請年月日 年 月 日

日本農業技術検定協会 会長 殿

法人等名称

代表者氏名

日本農業技術検定2級実技検定試験免除規定（以下、免除規定という。）に基づき、2級実技試験の免除を申請するにあたり、下記の者は本法人等経営体の従業員であり、1年以上所定の農作業に従事していることを証明します。

記

- 1 当該職員氏名（ ）
- 2 当該職員所属先・役職（ ）
- 3 設立（ ）
- 4 資本金（ ）
- 5 連絡先
（住所：〒 ）
（電話： ）
- 6 従業員数（ ）
- 7 栽培作物・経営規模
（ ）
- 8 当該従業員の農作業内容 ※2機種以上の農業機械利用
（ ）
- 9 上記の従事期間
（ ）
- 10 添付書類
 - ・ 2級学科合格証明書の受験番号・受験年度が確認できる書類
 - ・ 申請手数料の振込確認ができる書類

(2) 1 級実技試験免除規定

日本農業技術検定 1 級実技試験免除規定

平成30年11月
日本農業技術検定協会

1 級実技試験免除の申請ができる者の要件と手続きは以下のとおりとする。

I 要件

1. 農業高等学校、道府県農業大学校、短期大学、大学等

学校における教育課程において、通算農場実習等4単位以上を取得した者。

なお、大学における農場実習の単位が4単位に満たない場合でも全国大学附属農場協議会が認定した場合は農場実習等※4単位以上を取得したと見なすことができる。

※農業インターン、農家への短期研修、国内外農業留学、国内援農などを含む。

2. 個人

(1) 2年以上の実務経験を有する農業者（農業法人の従業員を含む）

(2) 2年以上の実務経験を有する農協の営農指導員等

(3) 2年以上の実務経験を有する大学農場等の技術職員

(4) その他

上記(1)～(3)に該当しない場合で、検定協会の審査によって認められた者

II 申請手続き

学科試験合格後に以下の手続きにより申請する。団体免除の事前手続きは行わない。

1. 農業高等学校、都道府県農業大学校、短期大学、大学の場合

学校長発行の学業修得証明書及び農場実習等が記載されているシラバス（年間学習指導計画を含む）を添付して別紙様式1により検定協会宛に申請する。大学生の場合は、申請書は必要に応じて、全国大学附属農場協議会の協力を得て検定協会が審査する。

2. 農業者（農業法人の従業員を含む）の場合

①個人農家

別紙様式2に必要事項を記入し、農業委員会が発行する2年以上の耕作証明書等を添付して、検定協会宛に申請する。

②農業法人の従業員

別紙様式2に必要事項を記入し、雇用事業者（農業法人）が発行する当該法人の事業概要と申請者本人が2年以上の農業従事している雇用職歴を証明する証明書の写し等を添付の上、検定協会宛に申請する

3. 農協の営農指導員及び普及指導員等の場合

別紙様式3に必要事項を記入し、農協組合長（又は普及センター長）が発行する営農指導等業務2年以上従事していることを表す証明書を添付して、検定協会宛に申請する。

4. 大学農場、試験場等の場合

別紙様式4に必要事項を記入し、所属長が発行する営農指導・試験研究等業務に2年以上従事していることを表す証明書を添付して、検定協会宛に申請する。

5. その他該当者

所定の様式に必要事項を記入し、関係書類を添付して、検定協会宛に申請する。

Ⅲ 経費

1級実技免除の申請手数料（合格証発行を含む）は1,000円（消費税込み）とし、検定協会所定の口座に振り込むこととする。振込手数料は申請者の負担とする。

【振込口座】 みずほ銀行 銀座支店 普通預金

【口座番号】 2772364

【口座名義】 一般社団法人全国農業会議所

(別紙様式 1)

日本農業技術検定 1 級実技試験免除および 1 級合格証発行にかかる申請書
(農業高等学校・道府県農業大学校・短期大学・大学生用)

申請年月日 年 月 日

日本農業技術検定協会 会長 殿

フリガナ
氏 名 印

生年月日 _____

所属機関名 (学校名)

住所

電話番号

Email

日本農業技術検定 1 級実技検定試験免除規定(以下、免除規定という。)Ⅱ-1に基づき、
下記のとおり 1 級実技試験の免除および 1 級合格証の発行を申請します。

記

1. 1級学科合格証明書の受験年度・番号・科目
2. 添付書類（学業履修証明書・シラバス・学習計画表）
3. 申請手数料の振込確認ができる書類

〔様式 1 添付書類〕（農業高等学校・道府県農業大学校・短期大学用）

年 月 日

日本農業技術検定協会長 殿

学校名

学校長

印

下記の者は本校 学科 年次に在学する生徒であり、農場実習等 4 単位以上の履修者であることを証明いたします。

該当者 氏名

（付）学業履修証明書、シラバス（学習計画表）

（注）1. 申請書送付先 日本農業技術検定協会（事務局：一般社団法人全国農業会議所）

〒102-0084

東京都千代田区二番町 5-6 あいおいニッセイ同和損保 二番町ビル 7 階

TEL：03-6910-1126、FAX：03-3265-5140

2. 申請手数料と手数料の振込確認ができる書類の添付について

1 級実技試験免除にかかる審査および 1 級合格証の発行にかかる手数料は、1 人当たり 1,000 円とします。なお、振込手数料は申請者のご負担とさせていただきます。

以下の口座にお振り込みいただいた際の明細の写しを添付してください。（ご入金を証明できるもの：振込金 受領証、ATM 利用明細等）

振り込み口座

【振込口座】 みずほ銀行 銀座支店 普通預金

【口座番号】 2772364

【口座名義】 一般社団法人全国農業会議所

〔様式1 添付書類〕（大学生用）

年 月 日

日本農業技術検定協会長 殿

大学名
学部長名 印

下記の者は本大学 学部 学科 年次に在学する学生であり、農場実習等
4単位以上の履修者であることを証明いたします。

該当者 氏名

（付）学業履修証明書、シラバス（学習計画表）

8. 行政財産使用申請書の取り扱い

(1) 申請手続き

- ① 「行政財産使用申請」が必要な場合には、技術検定事務局が申請手続きをします。

申請が必要な団体は、申込み手続きをする際に、団体登録画面にある確認事項の「行政財産使用申請書」欄に「必要」とチェックを入れてください。

チェックをした団体には、技術検定事務局の様式による「行政財産使用申請書」(次頁参照)を“団体の長”あてに郵送します。

- ② 都道府県等が定めた様式での申請が必要な場合には、必要事項を記入の上で、郵送あるいはメール(kentei@nca.or.jp)にて、申請様式を技術検定事務局に送付してください。なお、団体情報登録の際に、その旨を備考に記入してください。

(2) 使用料等の支払い

行政財産の使用料等が発生する場合には、請求書など必要書類を技術検定事務局へ郵送してください。

(様 式)

会議所発第 号
年 月 日

〇〇〇〇高等学校長 殿

一般社団法人全国農業会議所
日本農業技術検定協会
会長 國井 正幸

行政財産使用許可申請書

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日本農業技術検定の実施については、日頃より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、〇〇年度第〇回日本農業技術検定の実施に当たって、行政財産の使用について許可を受けたいので、下記のとおり申請いたします。

敬具

記

1. 使用財産
名 称 〇〇高等学校
所在地
使用場所
2. 使用目的
農林水産省・文部科学省後援 日本農業技術検定試験の実施
3. 使用期間
年 月 日(土)
4. 使用料
ご指示のとおり

この件の問い合わせ先
日本農業技術検定協会 事務局
一般社団法人全国農業会議所
〒102-0084 東京都千代田区二番町 5-6
TEL 03-6910-1126

9. 受験票・試験資材の発送

(1) 受験票の発送等

① 受験票の発送

受験票は、試験実施日の3週間前までに団体へ郵送します。2週間が過ぎても、受験票が届かない場合には、技術検定事務局に連絡してください。

② 受験票の確認

受験票が手元に届いたら、受験者名、受験級など誤りがないか必ず確認してください。

受験者名等に誤植等がある場合には、試験当日、「試験資材」の中にある「受験者データ修正票」で修正箇所を記入して、解答用紙等とあわせて返送してください。

なお、受験票の再発行はできません。また、使用できる漢字は、JIS第2標準で、外字対応はできませんのでご了解ください。

(2) 試験資材の発送

① 試験資材の発送

試験資材は、試験実施日の3日前(水曜日)に到着するように、宅配便で発送します。これを過ぎても到着しない場合には、技術検定事務局に至急連絡してください。

② 試験資材の確認

試験資材が到着したら、同封の「試験資材チェックリスト」で、試験問題や解答用紙などの試験資材が確実に送付されているかを、必ず確認してください。「チェックリスト」には、確認日と確認者名を記入してください。

送付漏れがあれば、直ちに技術検定事務局に連絡してください。

また、「チェックリスト」は、試験終了後、解答用紙等とあわせて技術検定事務局へ返送してください。

* 注意事項

試験問題(予備を含む)は、5冊あるいは10冊単位でラッピングされています。試験当日までラッピングは破らずに、厳重に保管してください。

③ 試験資材の保管

内容の確認後、試験資材は試験当日まで鍵のかかる場所で厳重に保管してください。

10. 試験結果の通知と合格証等の交付

(1) 試験結果の通知

試験結果は、第1回目は8月末、第2回目は翌年1月末までに通知します(試験後1か月を目標にしています)。

団体受験の場合は、「受験者の得点一覧」と「合格証」等を実施団体に一括送付します。

(2) 合格証等の交付

3級の場合、学科試験合格者には「3級合格証」を送付します。

2級試験・1級試験の場合、学科試験のみの合格者にはそれぞれの級の「学科試験合格証明書(選択科目名入り)」を交付します。

2級実技試験免除を受けている場合、あるいは2級実技試験の合格者には、「2級合格証」を交付します。

また、1級の実技試験免除を申請された場合、あるいは1級実技試験の合格者には、「1級合格証」が交付されます。

	(3級)	(2級)	(1級)
学科試験合格	合格証	合格証明書	合格証明書
実技試験合格	—	合格証	合格証
実技試験免除者	—	合格証	合格証

(3) 合格証等の誤植等への対応

送付した合格証等の名前等に誤り・誤植がある場合は、技術検定事務局に連絡してください。訂正のうえで送付いたします。なお、外字対応はできませんので、ご了承ください。(合格証を再発行する場合には有料になります)

(4) 合格証等の再発行

① 申請手続き

合格証等の再発行が必要な場合は、「合格証・合格証明書再発行申請書」に必要事項を記入のうえ、技術検定事務局へメールあるいは郵送、FAX で申し込んでください。

手数料(800 円)の入金を確認後、合格証等を送付します。

※記入事項：受験番号(不明でも可)、合格年度・受験回、合格級、都道府県名、氏名(フリガナ)、校名・団体名、合格証等の送付先の住所・郵便番号・担当者氏名等

※「申請書」の様式例は、日本農業技術検定HPから入手することができます。

② 手数料の振込先 (*振込手数料は申請者負担となります)

【振込口座】みずほ銀行 銀座支店 普通預金

【口座番号】2772364

【口座名義】一般社団法人全国農業会議所

1 1. 試験官の設置

(1) 試験官の設置

団体受験の実施団体は、試験官として1名以上を配置してください。試験官数は、受験者数に応じて実施団体で決めてください。

なお、厳正に試験を実施するため、可能な限り1室2名で担当するように配慮してください。

(2) 試験官誓約書の提出

団体受験実施団体の試験官は、就任に当たって、以下の事項を定めた誓約書を技術検定協会に提出していただきます。試験当日、「試験資材」の中にある「試験官誓約書」に必要事項を記入して、解答用紙等とあわせて返送してください。

なお、試験に不正があった場合は、団体受験者全員の合格を取り消します。

《誓約事項》

- ① 試験運営マニュアル等試験に関する規程を遵守すること
- ② 試験問題等を試験実施日まで適正に管理し、問題を漏洩しないこと
- ③ 職務上知り得た情報を開示、漏洩しないこと
- ④ 試験実施に当たっては、厳正公正に行うこと

* 注意事項

- 1) 試験官が複数になる場合は、「誓約書」は代表者1名の提出で差支えありません。
- 2) 都道府県農業会議の場合は「誓約書」の提出は不要です。

(3) 試験官報酬

申込み手続きの際、団体登録の「試験管報酬」に「必要」とチェックした団体には、試験官報酬として、1人当たり2,000円を支払います。また、3級から1級試験(第2回検定のみ実施)まで全ての級を担当した試験官には2,000円を追加します。

(4) 試験官報酬の申請書

第1回目、第2回目の試験当日、「試験資材」の中にある「試験官報酬申請書」に必要事項を記入して、解答用紙等とあわせて返送してください。

原則、試験官個人にお支払いしますので、個人単位で1人1枚の「申請書」を提出してください。申請者が複数の場合には、「申請書」を複写して人数分を提出してください。

(様式)

日本農業技術検定の団体受験における試験官誓約書

年 月 日

日本農業技術検定協会 会長 殿

団 体 名

フリガナ

試験官名 印

住所 〒

電話番号

日本農業技術検定の団体受験(年 第 回)の試験官就任に当たり、下記事項の遵守を誓約します。

記

1. 試験運営マニュアル等試験に関する規程を遵守すること。
2. 試験問題等を試験実施日まで適正に管理し、問題を漏洩しないこと。
3. 職務上知り得た情報を開示、漏洩しないこと。
4. 試験実施に当たっては、厳正公正に行うこと。

なお、万が一不正があった場合には団体受験者全員の合格を取り消されても異議ありません。

*注意事項

団体受験実施団体の試験官は、この「誓約書」を必ず提出してください。試験官が複数になる場合は、「誓約書」は代表者 1 名の提出で差し支えありません。

12. 「試験運営マニュアル」および「団体申込サイト 操作マニュアル」

(1) 「試験運営マニュアル」に基づいた試験の実施

試験当日は、試験資材として送付する「試験運営マニュアル」に基づいて、試験を運営してください。①試験監督の留意事項、②試験当日の動きと手配、③試験官のアナウンスの内容などを記載しています(次項以降参照)。

また、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、(参考)「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する日本農業技術検定試験実施の留意事項」(7頁参照)に基づいてご対応頂きますようお願いいたします。

(2) 「団体申込サイト 操作マニュアル」の入手について

団体受験の申し込みに関する「団体申込みフォーム」の操作については、この「団体受験ガイドブック」でも紹介していますが、「団体申込サイト 操作マニュアル」を、システムのログイン画面(一般・団体 申込フォーム)の「団体申込みフォーム」の下段にある「マニュアルはこちら」をクリックして入手することができますので、ご活用ください。

日本農業技術検定試験運営マニュアルの概要（12 月検定の参考例）
※7月検定は1級試験がありません。正式のものは試験資材として送付いたします。

【試験監督の留意事項】

1. 試験の監督に当たっては、厳正かつ公平に行う。試験中は試験室を離れず、試験監督をする。
2. 遅刻者は、試験開始後20分以内に限り許可し、該当席で受験させる。ただし試験時間の延長は認めない。
3. 受験票を忘れた場合、本人であることを確認の上、予備の受験票に、①受験番号、②氏名、を記入して受験させる。なお、忘れた受験票は試験終了後に日本農業技術検定協会事務局へ送付するよう伝える。
4. 受験者が使用する筆記用具は、鉛筆またはシャープペンに限り、ボールペンを使わないように注意する。
5. 試験監督者は、答案用紙、受験票の回収漏れがないように十分注意する。
6. 答案用紙回収の際は、選択科目のマークに記入漏れがないか必ずチェックする（選択科目にマークの記入がないと採点できません）。
7. 3級解答用紙の記入注意事項（別紙、3級試験のみ）を説明する。
8. 急病人の発生等緊急事態が生じた場合には臨機応変の処置をとる。その処置を行った時は速やかに日本農業技術検定協会事務局へ報告する。

【役割分担】

A=試験監督者（試験問題・解答用紙準備→試験監督→受験者名簿兼出欠リストの作成→実施報告書の作成→返送）

B=受付（試験会場の準備→受付→出欠確認・受験票等の回収→パッキング→返送）

※団体受験で確実に本人確認ができる場合は、受験票への写真貼付は必要ないこととしています。

【トイレに行く受験者への対応】

1. Bは受験者をトイレの前まで連れて行く。あまり長時間にわたるようならば声をかける。試験監督者は試験室を離れない。
2. Bは終わり次第、受験者を試験室へ連れ帰る。

【不正行為等を発見した場合の処理】

1. 試験監督者は、不正行為の疑いのある者を発見した場合は、直ちに注意を与えるとともに、以後、不正行為を行った場合は退席させる旨を伝える。
2. 再度同様の行為をした場合には、試験監督者は直ちに退席を命ずる。試験実施報告書には、不正行為の顛末を記す。
3. 上記以外の行為、例えば受験者間での私語の取り交わし、答案用紙の交換等もこれに準じた取り扱いとする。

【机上ラベルの使い方について】

試験資材に同封される机上ラベルに示す番号は、受験票の下9桁を表示している。そのため3級、2級、1級に渡って同一の机上ラベルを使用する。（例）

3級受験者	受験番号	2213102345001	（左記の下9桁=下線部=が机上ラベルの番号）
2級受験者	受験番号	2212102345001	（左記の下9桁=下線部=が机上ラベルの番号）
1級受験者	受験番号	2211102345001	（左記の下9桁=下線部=が机上ラベルの番号）

【試験当日の動き】

	A（試験監督者）	B（監督者補佐）
8:45	会場集合、事務室で試験資材を受け取る。	
8:45	試験問題、解答用紙の数量を確認する。	①机に座席ラベルを貼る。 ②試験室ドアに案内紙を貼る。

9:30	3級受験者を会場に入室(以下、「当日のアナウンス」)させる。	受験者に入室を促す。
<u>10:00</u>	3級試験開始。	
10:20	3級受験者名簿兼出欠リストに記入する。	出欠が確定した時点で、試験会場を巡回し受験者の写真と本人の照合を行い、受験票を回収する。
<u>10:40</u>	3級試験終了。 回収した受験票、解答用紙、受験者名簿兼出欠リストをBに渡す。	①受験票、②3級解答用紙、③3級受験者名簿兼出欠リスト(氏名等の修正がある場合は④「データ修正票」)を袋に詰める。→保管
10:50	3級だけの試験会場は、実施報告書を作成し、Bに渡す。 2級受験者を会場に入室(以下、「当日のアナウンス」)させる。3級から2級の間は限られた時間なので機動的に対応する。	※実施報告書を袋に詰め、返送する 受験者に入室を促す。
<u>11:10</u>	2級試験開始。	
11:30	2級受験者名簿兼出欠リストに記入する。	出欠確定した時点で、受験票の写真と本人を確認しながら受験票を回収。
<u>12:10</u>	2級試験終了。 回収した受験票、解答用紙、受験者名簿兼出欠リストをBに渡す。	①受験票、②2級解答用紙、③2級受験者名簿兼出欠リスト(氏名等の修正がある場合は④「データ修正表」)を袋に詰める。→保管
12:15	実施報告書を作成し、Bに渡す。	※実施報告書を袋に詰め、返送する。
12:15	昼食・休憩	
12:30	1級受験者を会場に入室(以下、「当日のアナウンス」)させる。	受験者に入室を促す。
<u>13:00</u>	1級試験開始。	
13:20	1級受験者名簿兼出欠リストに記入する。	出欠が確定した時点で、試験会場を巡回し受験票の写真と本人の照合を行い、受験票を回収する。
<u>14:30</u>	1級試験終了。 回収した受験票、解答用紙、受験者名簿兼出欠リストをBに渡す。	①受験票、②1級解答用紙、③1級受験者名簿兼出欠リスト(氏名等の修正がある場合は④「データ修正表」)を袋に詰める。
14:35	実施報告書を作成し、Bに渡す。	※実施報告書を袋に詰め、返送する。
14:35～	回収に来たヤマト運輸の担当者に渡す。あるいは最寄りのヤマト運輸営業所に持ち込む。	
これで終了です。		

※ 受験者の受験級によって終了時間が異なりますので、機動的な対応をお願いします。

※ 第1回試験(7月検定)は、1級試験がありません。

13. その他

(1) 一般受験者の受け入れ意向の確認と受け入れご協力のお願い

団体受験の会場で一般受験者の受け入れについて、意向と受け入れ可能人数を試験実施前に確認いたします。

一般受験者の受け入れが「可能」と回答いただいた団体は、試験会場の1つとして、当技術検定のホームページ上に掲載いたします。

受験会場を増やして一般受験者の受験機会を拡大するため、一般受験者の受け入れにぜひともご協力をお願いいたします。

(2) お問い合わせについて

試験の実施に当たりまして、当「ガイドブック」に記述した以外に必要な書類がある場合や記述内容に不明な点等がございましたら、技術検定事務局までお問い合わせください。

発行:日本農業技術検定協会（事務局:一般社団法人全国農業会議所）

〒102-0084 東京都千代田区二番町 5-6 あいおいニッセイ同和損保 二番町ビル7階

TEL:03-6910-1126

FAX:03-3265-5140

ホームページ:<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>

メールアドレス:kentei@nca.or.jp

日本農業技術検定協会は、(一社)全国農業協同組合中央会、全国町村会、全国農業高等学校長協会、全国農学系学部長会議、全国大学附属農場協議会、全国農業大学校協議会、(一社)全国農業改良普及支援協会、(公財)農民教育協会、(公社)国際農業者交流協会、(一社)日本農業機械化協会、(公社)日本農業法人協会、(一社)全国農協観光協会、(一社)農山漁村文化協会、(一社)全国農業会議所(事務局)の14団体から構成されています。